



一学期前半の指導を終えて

校長 梶谷 雅弘

本日、一学期前半の指導最終日を迎えましたが、今年度も、保護者や地域の皆様からの温かいご支援に支えられ、教育活動を行うことが出来ました。心より御礼を申し上げます。

台風8号接近に伴いまして、7月11日は、始業時刻を1時間遅らせる措置をとりました。結果的には、台風の影響はあまりなく、大変ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。皆様には、ご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

その11日は、読み聞かせボランティア「よむよむたい」の皆さんによる読み聞かせが予定されていましたが、急遽可能な方に、9時20分からの読み聞かせをお願いをしたところ、朝の忙しい中、時間をやりくりして頂き大勢の方に読み聞かせをして頂きました。

2年1組を担当して下さった 乾 喜一郎 様は、お子さんは、他校に転校されましたが、引き続き公私ともにお忙しい中、読み聞かせに駆けつけて頂いております。また、6年1組を担当して下さいました 有村 知子 様は、本校にお子さんがいらっしゃらないのにボランティアとして長く活動に携わって頂いています。このように大勢の皆様が本校の教育活動を支えてくださっています。

ご支援頂いている皆様に心より御礼申し上げますと共に今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

南田中小学校の卒業生を含めた南が丘中学校の生徒が、来校し大活躍してくれました。

有志の中学生による
あいさつ運動



中学3年生による5年生への
「国語 パブリック・スピーチ」



生徒会役員による6年生への
学校生活説明会



本校の教育活動を今年度も広く発信します。

昨年夏の学校図書館研究会宇都宮大会に続き、今年も本校の教育活動実践事例を、清水達郎教諭と村上光紗教諭が、東京都教育委員会主催の研修会「26年度専門性向上研修読書活動Ⅰ読む楽しさや喜びを育む読書活動の充実」で、発表をすることになっています。

本校の教育活動を発信する機会を与えて頂いた事で、本校の教職員にとっても大変光栄なことです。国語の授業の中で、どのように区立南田中図書館と連携をしているか今年度の実践事例も含め、他校にとって明日からの実践に生かせる質の高い発表となるものと確信しています。

WFPエッセイコンテスト2014への応募をお待ちしています。今年度のテーマは、「いただきます」と「ごちそうさまです」となっています。「いただきます」と「ごちそうさまです」を通して、食にまつわる経験や思い出を綴ってください。400字以上 800字未満でお書きください。

昨年度も2名の保護者を含め72点の作品を送付し、2160円の募金を行いました。

昨年度は、日本全国から、12,410通の応募があったそうです。

年々、応募者が増えてきています。

児童にとっては、自分自身のペンの力で、募金をすることができる貴重な機会です。ぜひ挑戦させてください。

応募部門は、4年生以上の小学生部門や中学生・高校生部門、18歳以上部門があります。

保護者・地域の皆様のご応募もお待ちしております。

世界では8人に1人が飢餓に苦しんでいます。

国連WFPは、途上国の貧困に苦しむ子どもたちに、学校給食を提供しています。

世界でも日本でも食は私たちの生活の基本。食への感謝を表現する日本特有の言葉、「いただきます」と「ごちそうさま」を通して誰もがもつ身近で自分なりの、食にまつわる経験や思い出をつづってください。

食べることの意味や可能性を考え、改めて日常を見つめ直すことで、

食べ物がなく飢餓に苦しむ世界の人々や世界の食糧事情にも目を向けると同時に「飢餓」の問題にも関心をもってください。

応募1作品につき、給食1日分(30円)が、

協賛企業のご協力により国連WFPに寄付され、

学校給食支援に役立てられます。ぜひご応募ください。

